

**令和元年度 久留米広域連携中枢都市圏
ビジョン懇談会 小分科会（公共交通ワーキング）
議事録**

(1) 日 時： 令和元年 8 月 21 日（月） 10：00～11：30

(2) 場 所： 公社会館（メルクス）3 階ホール

(3) 出席者： <ビジョン懇談会委員>2 名

鯉谷彰委員、岡本卓也委員（代理出席：佐伯亮委員）

<各ワーキンググループ職員> 10 名

<事務局>3 名

(4) 次第及び内容：

〔○…委員発言 ●…ワーキンググループ、事務局発言〕

1. 開会
2. 出席者紹介
3. 説明事項
<p>テーマ「公共交通の利用促進について」</p> <p>配布資料をもとに説明。</p>
4. 意見交換
<p>●まずは久留米市の取組についてご質問等ございませんか。</p> <p>○鉄道というのは大量輸送機関ですので駅の数も限られており、駅からのお客様の交通が便利でないと、なかなかご利用いただけません。交通結節点の整備が課題で、色々なところで駅前広場等を整備していただいております。久留米市の中でこれから駅前の再開発等で大きな整備ができる可能性があるところ、例えば荒木駅の東側等ですが、そういったところがありましたら整備の際に駅前広場にバスが入って、バスと鉄道の乗り継ぎをスムーズにできればと思います。JR久留米駅はバスとの乗り継ぎはいいのですが、一般自動車が入るスペースが少ないという課題があります。新しい取組をされるような候補地がありましたら、ぜひ早い時期から意見交換をさせていただきたいと思っております。また、久大線沿線でも、鉄道とバスの接続が、あまり考えられていないと思っておりますので、これからはバス会社とも連携して少しでも乗り継ぎを改善できればと思います。荒木駅や御井駅、善導寺駅等も、まだ改善の余地があると思っております。久留米市の中で計画がありましたら、話せる範囲でお願いします。</p>
<p>●久留米市では、都市計画マスタープランにおいて、地域生活拠点エリアを鉄道駅を中心として設定しておりまして、今後、交通結節等の整備を進めていく検討を行っているところです。今の段階でいつどこというのは難しいですが、優先的にやるところはあると考えておりまして、特急、快速停車駅などは優先的に取り組んでいく必要があると考えています。駅前広場やパークアンドライド等も必要があれば考えていきます。</p>
<p>○ターゲットが決まれば話が前に進みますか？</p>
<p>●そうですね。事業費等もかなりかかってきますので大きな話になります。決まれば交通事業者さんとも十分協議させていただきますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>●大川市の取組について何かありましたらお願いします。</p>
<p>○大川市にはJR駅はないですが、例えば大川市から筑後船小屋駅を利用して久留米や福岡都市圏に通勤・通学、もしくは新幹線を利用した出張等、そういった数字的なデータや検討されたものが</p>

<p>ありましたら教えていただけたらと思います。</p>
<p>●公共交通機関はバス路線のみです。さきほどあった筑後船小屋駅や羽犬塚駅の利用は良くわかりません。</p>
<p>○大川市の職員が出張するときはどうですか。</p>
<p>●基本は公用車、西鉄バス、西鉄電車です。東京などの出張は、佐賀空港の利用促進の観点もあり、佐賀空港を利用しています。電車の活用に関しては、こういった取組をしていくか検討しなければと思っています。</p>
<p>●次に、小郡市の取組についてご質問、ご意見等いただければと思います。私の方からひとつお聞きしたいと思います。九産大との連携事業でタブレット端末の導入などを実施されていますが、費用はどのくらいかかっていますか。データを蓄積することによって利用者増などの効果について教えていただきたい。</p>
<p>●金額としては約30万円ほど、委託でさせていただいています。九産大によるアンケートと自前でのアンケート、いろいろな手段を用いて情報収集するのが目標でした。データ分析し今後活用できるものと思っています。ただ、回答されない方、乗る方が同じ方だと回答が限られてしまうので、留意する必要がありました。</p>
<p>●佐伯部長、小郡市の取組で何か感想などあればお願いいたします。</p>
<p>○久留米市、大川市、小郡市の話聞いていまして、生産性向上の取組みということで、バス路線の維持確保につきましては、国庫補助をいただいている各市町村においては、国からバス利用者を少しでも増やしていきたいとお達しが出ていると思います。皆様にはご協力をいただきまして感謝申し上げます。久留米市とは、利用者への取組としてバス教室を付属小で行ったり、小郡市とのコミュニティバスの貸し出しなど、今後も行っていく考えでございます。また、大川市の路線バスの現状ということで、チラシ等を配布していただいておりますが、実際に少子高齢化や人口減少の影響に伴って、私どもの利用者が減少してきているのが現状でございます。一方で、乗務員が不足していて、なかなか運行を継続していくことが難しくなっています。私どもとしましても、バスでないと走れない所を守っていくべきと思っていますので、こういった利用促進の活動はすごく大事になってくると思います。大川市の路線バスの現状のような形で利用者が減少していった場合、「補助額が増加し路線の維持が困難になることが予想されます。」とのチラシを配布していただいておりますが、私どもも運行継続することがなかなか難しいところを、皆様に補填いただいて運行しているところもございますので、利用促進については、皆様のお力添えをいただいて取組を継続していかなければならないと感じているところでございます。</p>
<p>●確かに路線バスの方も乗務員が不足していますので、小郡市がやってあるようなデータを取ってニーズを探るなど、こういうのはマッチングすると思いますので、今後はこういうことを考えていくのがいいのではと思います。</p>
<p>●続きまして、うきは市の取組についてご質問ありましたらお願いいたします。</p>
<p>○朝倉インターから高速バスで福岡市へという流れに力を入れているということですが、利用者は増えてきているのですか。</p>
<p>●こういう動きをし始めて、初めて西鉄バスグループの日田バスと話を始めました。今のところ利用客数についてデータをいただくような関係までは至っておらず、一番多い便は何便、次は何便ということだけは情報交換させていただいて、時刻の設定をしているという状況です。</p>
<p>○私も正直こちらに来てから知りましたが、日田から福岡に高速バスが一時間に3~4便も走っているのがびっくりしました。久大線が一年ぶりに復旧しましたが、福岡方面はお客様が元に戻ってい</p>

ません。西鉄バスの便利さに気づかれて戻ってきていないのが、厳しいけど現実です。久大本線は赤字のローカル線ではございますが、お客様が若干ですが増えてきている駅もある全国的にも珍しい路線です。特に筑後吉井駅はお客様が伸びております。うきは市が、吉井地区で古い町並み整備やイベント開催に力をいれられたことがプラスに働いているのかなと思います。吉井駅から中心地まで歩くには少し距離があるので、バス等との連携ができないものかと思っております。また、観光地まで10分程の間を歩いて楽しめるようなまちづくりができればと思います。公共交通を利用して観光に来ていただけるような、取組みが一緒にできればと思います。そうなれば通勤通学も便利な形に繋がってくると思います。

●ありがたい提言をいただいたと思います。高速バスの件は、旧吉井町は朝倉インターに近く、旧浮羽町は杷木インターが近いですが、杷木インターには西鉄の高速バスで別府に行くような便が停まると近頃知りまして、長崎～別府間が停まるということは意外と地元の方も知らなくて、こういうのを知ることによって利用が促進される面があるのではないかなと思います。まだまだ利用者増の余地があるのではと思っています。

2点目が非常に重要な話と感じていまして、実は私たちもJRから210号まで数百mあって、さらに官公庁まで10分程度かかりますので、何とか解消しなければと思っています。そういった中で、吉井と浮羽の庁舎を繋ぐ210号バイパスを走る、庁舎間バスをどうにかしないといけない。それを延伸させて筑後吉井駅に繋げないか検討している中で、当然、地域公共交通会議を開催して住民と事業者と話を調整しなければならない場面がございます。そこで必ず言われるのは、JR駅には構内権という限られたタクシーが停める権利があるということで、庁舎間バスは来てくれると言われて非常に心苦しいところがあります。もし、JRの方で構内権についてご存じの情報があれば、逆に教えていただきたいと思っておりました。

○確かに構内タクシーについては駅毎に会社が定められています。他の駅の話ですけども、観光タクシー的なものを乗り入れられないかという話をしましたが、構内タクシーの権利の関係で進みませんでした。吉井駅は初めてお聞きしましたので、連携の足かせになっている様であれば確認させていただきたいと思います。

●続きまして大刀洗町の取組についてご質問ご意見ありましたらお願いします。

●レンタサイクルの利用率はどのくらいですか？

●レンタサイクルについては、かなり利用率が低い状況です。昨年度から実施していますが、今年度に入って月に1件あるかないかです。啓発をしていますが、まだPRが足りないかなと思っています。

○レンタサイクルは、中国、ヨーロッパなど外国ではよく利用されています。日本では中々上手く活用されていない理由は何でしょうか。2次交通として良いと思いますので、ご存じなら教えていただきたい。

●まず周知の問題もありますが、本町の図書情報センターの窓口にて貸し出しているのですが、本人確認や利用時間の問題等もあり、利用者もそう多くありません。当町としては、まずレンタサイクルの試験運用をしたところで、この後はどう運用するかのフェーズに来ていると思っています。

●当市も自転車の似合う街を標榜しており、レンタサイクルとして「くるくる」というのがありますが、知られてないところがありまして、どうすれば皆さんに知っていただけるか。なかなかアイデアが難しいと感じています。実際、つつじマーチの時、西鉄天神駅からどのように移動すればよいのか。事前に告知できるようなもの、スマホでの交通検索システムなど、そういったもので知ってもらいたいと思いますし、市民の方でも皆さんがご存じという状況ではないので、そこが課題

<p>だと思えます。</p>
<p>○今度、新しく北野線のバスを、久留米市と大刀洗町と協議しまして今村天主堂の方に乗り入れることになりました。細かいところは協議中で多大なご迷惑をお掛けしているところですが、新しく路線を乗入れしていただけるのは、私どもとしてもありがたいことだと思っています。乗務員の不足や運転時間の削減の問題がある一方、このような取組は大事なことだと考えておりますし、告知の方も久留米市、大刀洗町の方で積極的にやっています。こういったところは他の取組にも直結するところだと思えますので、一緒になって取り組んでいきたいと考えています。</p>
<p>●大刀洗町の方では数十年ぶりに路線バスが復活するというので、九州の中でもレアケースです。</p>
<p>●それでは大木町の取組みについてご質問等お願いしたいと思えます。</p>
<p>●私の方からお聞きしたいと思えます。イチゴ狩りきっぷの反響はどうでしたか。また、さるこいフェスタは交通ということであれば、どこかの駅を起点としているのかどうか教えてほしいと思えます。</p>
<p>●プレスリリース等のPRの効果もあり、利用者が増えてきている状況です。苺の生育は、天候・気温や前日の来園者数等により、状況が変わります。</p> <p>さるこいフェスタにつきましては、ウォーキングイベントでございまして、昨年は約650名の参加がございました。昨年度は、道の駅おおきがスタートでしたので、最寄り駅から会場までは無料のマイクロバスで送迎している状況です。</p>
<p>●時間が無くなってしまいましたが、公共交通利用促進の取組について情報共有、意見交換ということで、貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>番外編となりますが、高齢ドライバーの事故、免許返納、そのための生活の足の確保などが社会問題となっています。久留米市では生活支援交通ということで、よりみちバスの運行やコミュニティタクシー制度を実施しています。一方、高齢者と公共交通ということであれば、JRのななつ星、西鉄のグランドバス65ですね。高齢の方も元気に利用され、通勤利用の方も多いと聞いております。このような高齢者交通対策について一言ずつお願いしたいと思えます。</p>
<p>●高齢ドライバーの問題について、免許返納補助はやっていません。高齢者の事故防止をどうやるかの方が大事と思えます。高齢者交通支援としては、生活支援バスを実施しています。今後の取組については、現在検討しているところです。</p>
<p>●免許返納者に対する補助は昨年度実施し、すでに終了しています。今後は公共交通のより充実化ということで、コミュニティバスの見直し改善やコミュニティバス以外の交通手段など、高齢者が日常的に利用できる生活支援交通について検討を進めているところでございます。</p>
<p>●免許返納者への対策はやっておりません。むしろ長く乗ってもらおうということで、ドライブレコーダー等の器具購入補助を実施しています。一方で買い物弱者対策として、まずは公共交通機関を利用してもらおう。それができなければ市が行うコミバスやデマンドタクシーを利用してもらおう。それでも救われない空白地帯については、地域包括ケアシステムのなかで移送支援を考えており、2年前から各自治会で話し合いが始まっています。自分たちで交通弱者、買い物弱者を救おうという動きが起きています。4校区でボランティアによる移送試験が始まっており、ある地区では国庫補助を受けて軽自動車を購入し、自分たちでお年寄りをスーパー等に送る。またスクールバスを活用し、児童の送迎時間以外を使ってボランティアがお年寄りを運ぶというようなことが、昨年からは始まっています。今後も住民との協働によってやっていきたいと考えています。</p>
<p>●免許返納補助としてタクシー券補助を予算化したところです。まだ自分で公共交通機関に乗れる人から、杖とか車いすがないと移動できない人まで段階はいろいろです。免許返納したからといっ</p>

<p>て、ひとくくりにするのは難しい問題と思っています。今後免許返納したらどんな生活になるのか、町の方々と想像しながら、手が貸せるところは貸す、応援する、そういった形にしていこうと考えています。地域の方でも話が進められておりました、行政が先に作るのではなく、皆でライフスタイルを想像して、それに合わせたものを作っていくのかなと考えています。</p>
<p>●高齢者の免許返納者には、最大2年間の初乗運賃相当額のタクシー利用券を年間48枚交付しています。また、福祉の観点ではございますが、住み慣れた地域に暮らし続けることがテーマだと思います。公共交通だけでなく、医療・福祉・介護・生活支援等を受けられる仕組みが、パッケージとして必要と思っております。</p>
<p>○駅のバリアフリー化については3,000人という基準がありますが、満たない駅でも自治体の支援等を受けて整備した事例があります。高齢者の方が利用できるように公共交通機関を残すためには、中心地に公共機関や病院など集中して公共交通機関の利用が便利なコンパクトシティ化が必要と考えます。面が広がると効率が上がらなくて維持が難しくなります。ぜひ、今後のまちづくりは集中的な整備をお願いしたいと思います。それと高齢者の移動ですが、ゴルフのカートみたいなものが走れる道、アメリカには専用道があるそうですが、そんな道ができれば高齢者も幸せだろうなと思います。</p>
<p>○バス事業においては、高齢者の方の利用が増えているのが現状でございます。久留米地域にはノンステップバスが1台、平成26年度に導入しまして、今年度さらに3台の導入に向け、西日本鉄道と久留米市で動いているところです。弊社としては、まずはワンステップバスの導入を進めていって、ご乗車いただきやすい環境づくりをしていく考えでございます。バスの時刻表やバス停についても、予算等の面もありますが、少しずつでも改善を進めていく考えでございます。</p>
<p>●それでは、進行を事務局にお返しします。</p>
<p>5. その他</p>
<p>●ビジョン懇談会全体会は秋ごろ開催予定です。</p>
<p>6. 閉会</p>